

# NO!リニア

No. 78

2014年 4月25日

JR東海労働組合

リニア反対プロジェクト

## 知事意見書提出からわずか1ヶ月足らずで リニア・アセス評価書発表 またも批判相次ぐ!

JR東海は4月23日、リニア中央新幹線環境影響評価書を発表しました。昨年9月環境影響準備書が発表されて以降、沿線各都府県知事から批判的な意見や疑問が相次ぎ、3月25日までに各都府県知事の意見書がJR東海に提出されていました。半年かけて吟味した意見書が、わずか1ヶ月足らずで回答された結果となりました。

JR東海が短期間で評価書を発表することは、建設ありきの姿勢が見え見えと言っても過言ではありません。特に、南アルプスのユネスコエコパーク（生物圏保存地域）との整合性について「登録の阻害要因にならない」と結論付けたことは、専門家による十分な検討をしないまま、主観で決めたとしか言いようがありません。また、大井川の流量減問題で、JR東海は「対策として工事着工後6、7年はトンネル内に出た水を汲み上げて大井川に戻す」と見解を出しましたが、果たしてこれが物理的に可能かどうか大いに疑問です。

以下、各都府県の意見を列記します。

### 【東京都】

残土置き場の位置が明示されていない。知事意見についてのやり取りがあってもよかった。変電所の規模など、情報が不足している。意見を反映する気があるのか。

### 【神奈川県】

住民の理解を得ながら事業を進めるよう求める。

### 【長野県】

表現がはっきり読み取れない部分もある。（わずか1ヶ月での修正で）求めていたようになっていない。

### 【岐阜県】

内容を精査し、言うべきことは言いたい。

## リニア中央新幹線建設は直ちに見直すべきだ!